

2020 年度 第 2 回 10 月北大本番レベル模試地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

**2 論述問題**

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。

② 下線の付け忘れは 1 点減点。

③ 指定用語不使用は 1 点減点。

④ 字数オーバーは 1 点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

**5 設問別加点基準**

- 1) \_\_\_\_\_ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1 点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば 1 点加点する。

**1**

問 1 1 点×3

a : 地理情報システム／GIS      b : 自然災害伝承碑      c : 工場

問 2 1 点×3

イ) : ○      ロ) : ×      ハ) : ○

問 3 1 点×2      ハ), ホ) (順不同可)      ※『 』の有無は不問。以下同。

※「3つ以上」の解答 → 1つの誤答につき-1点

問 4 6 点

奥集落の東側の水田は、魚野川の谷底低地に立地しており、川からの灌漑で成立している。奥集落の西側の水田は、支流の扇状地の扇央に立地しており本来は水利が悪いが、扇頂を通る西部水路の用水からの灌漑で成立している。

【加点ポイント】

- ① (東側の水田の地形) 谷底低地／氾濫原／後背湿地 →2 点
- ② (東側の水田の水源) 川の水／魚野川 →1 点
- ③ (西側の水田の地形) 扇状地／扇央 →1 点
- ④ (③の水利条件) 本来は水利が悪い／水はけが良い／乏水地である／地下水位が低い →1 点
- ⑤ (西側の水田の水源) 西部水路／扇頂からの用水路 →1 点

問 5 1 点×2      イ), ホ) (順不同可)

問6 記号 1点×6

洪水：a 土砂災害：b 火山：f  
地震：d 津波：e 高潮：c

問6 理由 3点

津波はプレート境界に面している外洋側で被害が大きいが、高潮は伊勢湾・東京湾などの湾奥での被害が多い。

【加点ポイント】(★「津波：e」と「高潮：c」の両方の正解を加点の前提とする)

- ① (津波の被害を受ける場所) 外洋側／外海 →1点
- ② (高潮の被害を受ける場所) 湾奥／内湾／内海 →1点
- ③ (①②の理由) 津波はプレート境界に面しているところで被害が大きい  
／津波は海底地震に由来する  
／高潮は狭い湾奥などで吸上げ効果や吹寄せ効果が大きくなる } 1点

問7 6点

北側の台地と低地の境界にならぶ集落は台地崖下の湧水による水利の良さから立地した列村である。中央部の旧東海道沿いに見られる集落は街道沿いに立地した街村である。旧東海道より海側に立地している集落は海岸平野の浜堤上に立地した列村である。

【加点ポイント】

- ① (北側の集落の地形条件) 崖下／台地と低地の境界／麓 →1点
- ② (①の立地条件) 湧水がある／水利が良い →1点
- ③ (中央部の集落) 街道沿い／街村／(旧)東海道沿い →2点
- ④ (南側の集落の地形条件) 浜堤／海岸平野の微高地 →2点

問8 1点×4

①：C ②：D ③：A ④：B

2

問 1 3 点×2

a : 冷凍船 b : マキラドーラ

問 2 3 点 キューバ

問 3 2 点×2

北回帰線 : A 南回帰線 : E

問 4 都市 2 点×2

w : ロ) y : イ)

問 4 説明 2 点

低緯度に位置し、低地なら年中高温の熱帯の気候だが、標高が約 4000m と高所にあり、気温の逡減率によって気温が低下し、常春のような気候になっている。

【加点ポイント】(★「y : イ」の正解を加点の前提とする)

- ① 低緯度に位置する／赤道近くに位置する  
／低地なら熱帯の位置である／低地なら年中高温である →1 点
- ② 標高が高い／標高が約 4000m である／気温の逡減率によって気温が低下する →1 点

問 5 5 点

【指定語句】 3 つ アルファルファ 550 mm 端境期 (下線不要)

パンパとは、アルゼンチンに広がる肥沃な黒色土壌が分布する草原で、年降水量 500 mm から 550 mm の等降水量線を境に、西の乾燥パンパでは羊を大規模に放牧する企業的牧畜が、東の湿潤パンパでは大豆やとうもろこし、伝統的牧草のアルファルファの栽培、肉牛の飼育を組み合わせた混合農業のほか、企業的穀物農業による小麦栽培が行われ、北半球の小麦収穫の端境期に出荷可能で有利な取引ができる。

【加点ポイント】

- ① (パンパの特徴) 土壌が肥沃／パンパ土が肥沃 →1 点
- ② (パンパは) 「550 mm の等降水量線を境／500~550 mm の年降水量を境」に  
「西側が乾燥し (乾燥パンパ) 東側が湿潤 (湿潤パンパ) である」 →1 点
- ③ (西側の農牧業) 牧羊／羊の放牧／羊の企業的牧畜 →1 点
- ④ (東側の農牧業) 「アルファルファ の栽培／アルファルファ を牧草とする」と  
「肉牛／牧牛／肉牛の飼育を組み合わせた混合農業」 →1 点
- ⑤ 「小麦を栽培」して「北半球の端境期に出荷(収穫・輸出)」する →1 点  
(※小麦栽培は「年降水量 550 mm 付近」「湿潤パンパ」で行われる)

問 6 2 点×2

原加盟国：ベネズエラ 脱退した国：エクアドル

問 7 3 点×2 (ロ), (ホ) (順不同可)

問 8 記号・国名 完答 2 点

記号：D, 国名：ペルー

問 8 説明 4 点

ペルーは、沖合を寒流のペルー海流が流れ、湧昇流が起きて好漁場となっている。漁獲量の大半がアンチョビーで、世界的漁業国である。しかし、沖合で海面水温が高くなるエルニーニョ現象が起きると湧昇流が弱くなり、漁獲量が激減する。そのため、グラフのように漁獲量が不規則に変動する。アンチョビーは魚粉に加工され肥料や飼料として輸出される。

【加点ポイント】

- ① (好漁場の条件として)「寒流」と「湧昇流」 →1 点
- ② 魚種は、アンチョビー／カタクチイワシ が多い →1 点
- ③ (②は) 魚粉／フィッシュミール／肥料／飼料 に加工(輸出)される →1 点
- ④ 「エルニーニョ現象が起きると漁獲量が減る」ので  
「グラフの変動が大きい／漁獲量のグラフがジグザグになる」 →1 点

3

問 1 3 点×2

a : ウラル b : C I S / 独立国家共同体

問 2 4 点

チェチェン共和国はムスリムが多く、東方正教の信者が多いロシアからの分離独立を求めて紛争が起きた。

【加点ポイント】

- ① (紛争の場所／民族) チェチェン共和国／チェチェン人／チェチェン民族 →1 点
- ② (①の宗教) ムスリム／イスラム教 →1 点
- ③ (ロシアの宗教) 東方正教／ロシア正教／正教会 →1 点
- ④ (紛争の内容) ①が独立を求めている／①の独立運動／ロシアが①の独立を認めない  
→1 点

問 3 3 点 キリル文字

問 4 3 点 ダーチャ

問5 2点×3

イ) : サクトペテルブルク / サクトペテルブルグ

ロ) : ウラジオストク / ウラジオストック

ハ) : イルクーツク

問6 8点

旧ソ連の崩壊後の混乱で、経済破綻とインフレが進み、1990年代前半の経済成長率はマイナスとなった。2000年代に入り主要輸出品である原油や天然ガスなどの資源価格が高騰すると経済成長率はプラスに転じたが、2008年には世界金融危機、2015年にはシェール革命による原油価格低下が輸出依存の経済に打撃を与えた。

【加点ポイント】 (※年代の若干の誤差は許容する)

① 「1990~98年頃 / 1990年代前半」は

「経済成長率はマイナスだった / 経済成長率は低かった / マイナス成長だった」 → 1点

② (①の理由) ソ連の崩壊 / 社会主義から資本主義への転換における混乱 → 1点

③ 「2000年代 / 1998~2007年頃」は「経済成長率はプラス / 経済は発展した」 → 1点

④ (③の理由) 輸出する原油価格の高騰 / 輸出する資源価格の値上がり → 1点

⑤ 「2008年頃」は「経済成長率はマイナスだった / 経済は一時的に落ち込んだ」 → 1点

⑥ (⑤の理由) 世界金融危機 / リーマンショック / 世界的不況 → 1点

⑦ 「2015年頃 / 2010年頃から / 近年」は「経済成長率は低い / 経済が打撃を受けた」

→ 1点

⑧ (⑦の理由) 「シェール革命 / 米国のオイルシェールの開発 / 原油の世界的過剰供給」  
による「原油価格の低下」 → 1点

問7 5点

地球温暖化により、この地域の永久凍土が融解している。その結果、凍土に含まれるメタンガスが大気に放出され、地球温暖化をさらに進める一因になっている。また、地盤沈下が生じ、住宅やインフラに被害が出る。

【加点ポイント】

① (永久凍土融解の原因) 地球温暖化 / 森林の伐採による裸地の増加

/ 森林火災(ツンドラ火災)による裸地の増加 → 1点

② (融解の影響) 凍土に含まれるメタンガスの放出 / 凍土中の温室効果ガスの放出 → 2点

③ (②の影響) 地球温暖化の促進 → 1点

④ (その他の影響) 地盤沈下 / 家屋の倒壊 / 道路などのインフラ被害 → 1点

4

問 1 1 点×5

- a : 亜熱帯高圧帯／中緯度高圧帯      b : アラビア語      c : ペルシヤ語／ペルシア語  
d : クルド      e : アラブの春

問 2 1 点×4

- ① : アトラス山脈      ② : カフカス山脈  
③ : ネフド砂漠      ④ : ルブアルハリ砂漠

問 3 1 点×4

カサブランカ : C      イズミル : A      アスワン : D      タブリーズ : B

問 4 2 点

湿潤地域に源流を持ち、乾燥地域を貫流する河川である。

【加点ポイント】

- ① 湿潤地域に源流を持つ／湿潤地域から流れる／多雨地域が水源 →1 点  
② 乾燥地域を貫流する／砂漠を流れる →1 点

問 5 6 点

いくつもの縦穴を掘り、それらを横穴でつないだ地下水路であり、山麓部の地下水を集落や農地へ導いている。その水は、実が食用、幹や葉が建材となるナツメヤシの栽培などに利用される。

【加点ポイント】

- ① (構造) 地下水路／地下用水路 →2 点  
② (構造) 複数の縦穴を横穴でつなぐ／地下水路に施工・修理用の縦穴が掘られている →1 点  
③ (設置目的) 山麓部の地下水を集落へ導く／水源から蒸発させずに水をひく →2 点  
④ (代表的な樹木作物) ナツメヤシ →1 点

問 6 7 点

石油資源が潤沢な国は、そうでない国よりも人口性比の値が大きい。これは、原油の輸出で得た利益を資金に高層ビル等の建設が活発で、南アジアなどから男性の建設労働者を大量に受け入れたためである。

【加点ポイント】

- ① 石油資源が潤沢な国は、そうでない国よりも人口性比が大きい  
／石油資源が潤沢な国の人口性比は 100 を大きく上回り、そうでない国は 100 に近い  
→2 点
- ② (石油資源が潤沢な国は) 男性労働者を大量に受け入れた／男性の出稼ぎが多い →1 点
- ③ (②の背景) 高層ビル等の建設が活発／レジャー施設などの建設ラッシュ  
／リゾート開発／建設労働者が不足した →2 点
- ④ (③の背景) 原油の輸出で得た利益を資金にした／オイルマネーによる  
／石油のモノカルチャー経済からの脱却を図る／産業の多角化を図る  
→2 点

問 7 6 点

イスラーム復興運動とは、イスラームの教えに従う政教一致の国づくりを目指そうとする運動である。西欧の資本主義を手本に政教分離で近代化を進めた結果、貧富の差が拡大したため活発化した。

【加点ポイント】

- ① (運動の内容) イスラームの教えに従う政教一致の国づくりを目指す  
／イスラーム教に根差した社会を目指す →2 点
- ② (背景) 貧富の差が拡大した／経済が停滞した／一部の人々に権益が集中した  
イスラーム社会に不公平を生みだした →2 点
- ③ (②の背景) 西欧の資本主義を手本にした／政教分離で近代化を進めた →2 点

問 8 1 点×6

- イ) : テヘラン, イラン
- ロ) : エルサレム, イスラエル
- ハ) : カイロ, エジプト